

株主の皆様へ

第99期

# 報告書

2018年4月1日～2019年3月31日





当期における我が国経済は、堅調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移したものの、海外経済の不確実性などから、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

建設産業におきましては、公共投資は前年度から概ね横ばいで継続し、民間設備投資は製造業を中心に堅調に推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは2017年度からの3ヵ年を対象とする中期経営計画「Challenge to a new Stage」を策定し、国内土木・国内建築・海外建設からなる基幹3事業の「安定した収益確保による経営基盤強化と変化への果敢な挑戦」にグループが連携して取り組み、企業価値の一層の向上に努めております。

国内土木事業におきましては、安定的な営業利益確保のため、ポートフォリオ戦略の徹底及び時代の変革にフレキ

シブルに対応できる体制構築を目指し、民間営業力強化、官庁海上工事のシェアアップに努めてまいりました。主に上半期の受注が伸び悩んだこと及び高採算性工事の減少により、売上高、セグメント利益ともに前期を下回りました。

国内建築事業におきましては、外部環境の変動に左右されない営業基盤の構築を目指し、営業力強化、コスト競争力強化を推進しております。当期は大型工場、物流センターなどの工事の順調な進捗及び工事採算性の大幅な向上により、セグメント利益が大きく伸長しました。

海外建設事業におきましては、安定した営業利益確保に向けた体制の構築、リスクマネジメント力強化、人材育成などに取り組んでおります。当期はミャンマー、ベトナムの港湾工事がセグメント利益に寄与したほか、新たにインドネシアにおいて大型港湾工事を受注いたしました。

これらの結果、連結売上高は1,638億円、営業利益は78億円、経常利益は80億円、親会社株主に帰属する当期純利益は54億円となりました。

また、期末配当につきましては、当期の業績及び今後の事業展開等を総合的に勘案いたしまして、1株あたり12円とさせていただきます。

当社グループは、中期経営計画の達成はもとより、その先に控える創立100周年に向けて一段の飛躍をしなければなりません。役員、社員が一丸となって更なる社業の発展に努力してまいりますので、皆様からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

2019年6月

代表取締役社長

武澤恭司

## グラブ浚渫船「拓海」が完成

当社と子会社のタチバナ工業とで建造を進めておりましたグラブ浚渫船「拓海」が昨年11月に完成いたしました。環境や省エネに配慮するとともに、女性専用室を設けるなど、最新鋭の設備となっています。既に工事に就役しており、今後一層活躍の場を広げてまいります。

### ●グラブ浚渫船「拓海」の全景



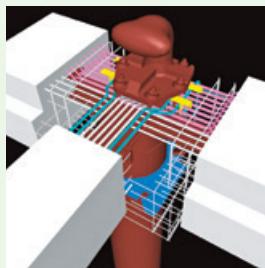
### ●徳山下松港で浚渫工事に従事



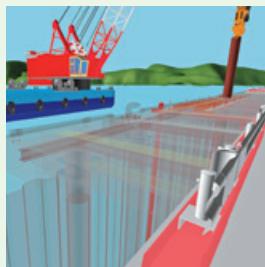
## 国土省港湾初のBIM/CIM試行工事

国土交通省港湾工事において、初めてのBIM/CIM\*1試行工事となる「舞鶴港第2ふ頭地区岸壁（-10m）改良等工事」を当社が受注、3月に完成しました。今後、全面導入が予定されているBIM/CIMについて、マニュアルや体制の整備を積極的に進めてまいります。

### ●係船柱取付部の事例



### ●岸壁改良部の事例



\*1 BIM/CIM…Building/Construction Information Modeling, Managementの略。

計画・調査・設計段階から3次元モデルを導入し、その後の施工、維持管理の各段階においても、情報通信技術を駆使して、事業全体にわたる関係者間で情報を共有することにより、一連の建設生産システムにおける受発注者双方の業務効率化・高度化を図るもの。

## 設計施工の取組み成果について

当社の技術力を総合的に発揮できる「設計施工」の件数が近年増加しています。お客様が求められているものを、当社の持つ技術力・デザイン力で具現化することで受注に結びつけています。また、当社が進めるBIM-DPX\*2により、一層の設計施工案件獲得を目指してまいります。

\*2 BIM-DPX…BIM-Digital Process Transformationの略称。「BIMによるデジタルプロセスの浸透が、建設業の取組みをあらゆる面でより良い方向に変化させること」と当社が定義したもの。(商標登録申請中)

### ●(株)シーアールイー様 ロジスクエア春日部 (完成)



### ●月島機械(株)様 八千代事業所 (施工中)



### ●さわやか信用金庫様 羽田ビル (完成)



### ●鴻池運輸(株)様 愛西倉庫 (施工中)



## インドネシアで大型港湾工事を受注

インドネシア共和国において、パティンバン新港開発事業パッケージ2を昨年11月に受注しました。工期が約2年に及ぶ大型工事であり、当社の技術力を結集し、施工を進めてまいります。

### ●現場位置



### ●完成予想図



## フィリピンで河川改修工事を受注

フィリピン共和国ミンダナオ島において、カガヤンデオロ洪水対策工事を本年3月に受注しました。この工事により、台風等による洪水被害の低減が期待されます。

### ●現場位置



### ●完成予想図 (堤防道路)



# 2019年3月期の連結業績概況

## 売上高

163,860百万円

(前期比 5.1%減)

(単位：百万円) ■第2四半期 ■通期



## 営業利益

7,815百万円

(前期比 27.8%減)

(単位：百万円) ■第2四半期 ■通期



## 経常利益

8,069百万円

(前期比 23.4%減)

(単位：百万円) ■第2四半期 ■通期



## 親会社株主に帰属する当期純利益 5,445百万円

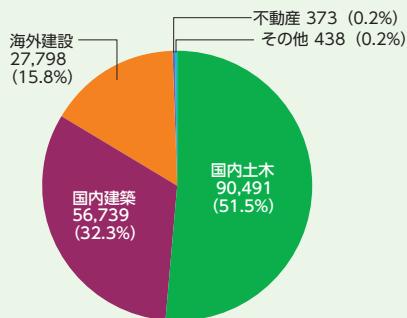
(前期比 22.8%減)

(単位：百万円) ■第2四半期 ■通期 ○ROE



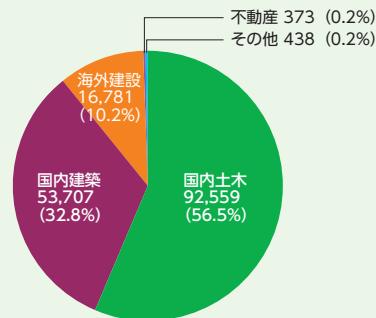
## セグメント別連結受注高

(単位：百万円)



## セグメント別連結売上高

(単位：百万円)



# 今後の経営施策

## 当期の主な受注・完成工事

### ●受注工事

	発注者	工事名	工事場所
土木	インドネシア共和国 運輸省 海運総局	パティンパン新港開発事業フェーズ1のうち パッケージ2 外周護岸/防波堤築造 及び外港航路浚渫工事	インドネシア共和国
	フィリピン共和国 公共事業道路省	カガヤンデオロ洪水対策工事(パッケージ2)	フィリピン共和国
	国土交通省	神戸港航路附帯施設地盤改良工事(第1工区)	兵庫県 神戸市 宮元
	山元町	平成30年度(債務)漁機2号 東波除堤工事	宮城県 宮元町
建築	横濱港埠頭株式会社	南本牧埋立事業 中継土砂海上運搬及び揚土等工事	神奈川県 横浜
	エスフーズ株式会社	(仮称) エスフーズ株式会社新船橋工場新築工事	千葉県 船橋市
	株式会社大京	(仮称) ライオンズ船橋湊町新築工事	千葉県 船橋市
	月島機械株式会社	月島機械株式会社八千代事業所建設工事	千葉県 八千代
建築	鴻池運輸株式会社	鴻池運輸愛西倉庫新築工事	愛知県 愛西市
	株式会社セブーイレブ・沖縄	(仮称) 株式会社武蔵野沖縄 沖縄工場新築工事	沖縄県 沖縄

### ●完成工事

	発注者	工事名	工事場所
土木	ベトナム社会主義共和国 運輸省	ラップフェン国際港建設事業(港湾)パッケージ8	ベトナム社会主義共和国
	国土交通省	横浜港南本牧地区岸壁(18m)(耐震)上部等工事	神奈川県 横浜
	宮城県	北島地先海岸(南側)災害復旧工事	宮城県 宮城
	東京都	潮風公園護岸改修工事(その6)	東京都 東品川
建築	大阪港埠頭株式会社	南港フェリー埠頭第二橋樑補強工事	大阪府 大阪
	独立行政法人国立病院機構 青森病院	独立行政法人国立病院機構青森病院 外来管理診療棟等建替整備工事(建築)	青森県 青森
	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	人工知能に関するグローバル研究拠点 臨海ハブ拠点研究棟(仮称) 建築工事	東京都 東京
	株式会社シーアールイー	ロジスクエア春日部 新築工事	埼玉県 春日部
建築	さわやか信用金庫	さわやか信金羽田ビル新築工事	東京都 東大田
	新日鐵住金株式会社 (現日本製鉄株式会社)	新日鐵住金広畑柔道場更新工事	兵庫県 姫路

建設産業におきましては、相次ぐ自然災害に備えた事前防災・減災対策や、社会資本の老朽化への対応など、我が国の持続的成長に向けた各種政策の継続などから、消費増税の影響による住宅着工戸数の減少は予測されるものの、建設投資は底堅く推移すると見込まれております。

一方で働き方改革、生産性向上、人材育成・担い手確保などが建設業界全体で取り組むべき課題となっております。

このような状況のなか、中期経営計画の最終年度である2019年度は、基幹3事業である国内土木、国内建築、海外建設各事業における重点施策を力強く推進するとともにグループ力を最大限に発揮し、計画の目標達成に向けて取り組んでまいります。

## 中期経営計画《Challenge to a new Stage》

### 基本方針

安定した収益確保による経営基盤強化と  
変化への果敢な挑戦によって更なる発展を目指す

### 達成目標

- 3か年での連結営業利益 245億円以上
- 3年後の連結営業利益率 5.0%以上
- 3年後の単体純資産 500億円以上

### 基本戦略

- ①基幹3事業(土木・建築・海外)の確実な発展による強靱な経営基盤の構築
- ②人材育成、技術力強化による生産性の向上
- ③グループ各社との相互連携強化によるグループ収益力の向上
- ④環境変化に即応できる機動的な組織への変革
- ⑤ガバナンス体制とリスクマネジメント力のより一層の強化

### 第100期(2020年3月期)の連結業績予想

売上高	1,830億円
営業利益	91億円
経常利益	89億円
親会社株主に帰属する当期純利益	55億円
1株あたり期末配当	15円

## 主な完成工事（土木）



横浜港南本牧地区岸壁（-18m）（耐震）上部等工事



ラックフェン国際港建設事業(港湾)パッケージ8



南港フェリー埠頭第二棧橋補強工事



潮風公園護岸改修工事（その6）



朴島地先海岸（南側）災害復旧工事

## 主な完成工事（建築）



人工知能に関するグローバル研究拠点 臨海ハブ拠点研究棟（仮称）建築工事



独立行政法人国立病院機構青森病院外来管理診療棟等建替整備工事（建築）



ロジスクエア春日部新築工事



さわやか信金羽田ビル新築工事



新日鐵住金広畑柔道場更新工事

## 第97回定時株主総会決議ご通知

2019年6月27日開催の当社第97回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

### 記

- 報告事項**
1. 第99期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件  
本件は、上記事業報告及び連結計算書類の内容及びその監査結果を報告いたしました。
  2. 第99期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）計算書類報告の件  
本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。

### 決議事項

**第1号議案** 剰余金の配当の件  
本件は原案どおり承認可決され、当期末の剰余金の配当は、1株につき金12円と決定いたしました。

**第2号議案** 取締役8名選任の件  
本件は原案どおり、武澤恭司、森山越郎、川逮正和、平田浩美、藪下貴弘、大林東壽、福田善夫、吉田豊の8氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

**第3号議案** 監査役2名選任の件  
本件は、原案どおり赤崎兼仁、福田二郎の両氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

本株主総会終了後の取締役会の決議により、次のとおり代表取締役が選定され、それぞれ就任いたしました。

代表取締役社長 武澤 恭 司  
代 表 取 締 役 森 山 越 郎

また、本株主総会終了後の監査役会の決議により、赤崎兼仁、福田二郎の両氏は常勤監査役に選定され、それぞれ就任いたしました。

以 上

# 株式の概要 (2019年3月31日現在)

# 役員 (2019年6月27日現在)

## 株式の状況

発行済株式の総数 94,371,183株  
(自己株式42,129株を含む)

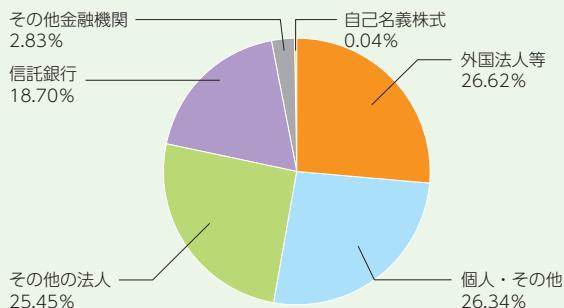
株主数 18,049名

## 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
前田建設工業株式会社	19,047	20.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,229	4.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,655	3.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,959	3.13
東洋建設共栄会	2,454	2.60
MSIP CLIENT SECURITIES	1,897	2.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,599	1.69
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,509	1.60
GOVERNMENT OF NORWAY	1,430	1.51
株式会社三菱UFJ銀行	1,300	1.37

(注) 持株比率は自己株式(42,129株)を控除して計算しています。

## 株主分布状況



## 取締役

代表取締役社長	執行役員社長	武澤恭司	澤山越一郎
代表取締役	執行役員副社長	森川正和	山田美弘
取締役	執行役員副社長	川平大	田下浩貴
取締役	専務執行役員	藪下林	田貴東
取締役	常務執行役員	大福吉	田善夫
取締役	常務執行役員		田吉豊

※福田善夫、吉田豊は社外取締役です。

## 監査役

常勤監査役	赤崎兼仁
常勤監査役	福田二朗
常勤監査役	染河清充
監査役	牧瀬充典

※福田二郎、染河清剛、牧瀬充典は社外監査役です。

## 執行役員

常務執行役員	河田 伸 幸
常務執行役員	田邊 俊 郎
常務執行役員	浜崎 恭 年
常務執行役員	岸川 史 尚
常務執行役員	郡司 島 勝
執行役員	橋本 光 正
執行役員	近石 聖 一
執行役員	大柳 修 彦
執行役員	井上 喜 与 彦
執行役員	春口中 啓 隆
執行役員	田原上 卓 一郎
執行役員	井塚本 雅 志
執行役員	五島 志 史
執行役員	伊藤 史 祐
執行役員	安井 居 秀
執行役員	鳥居 本 龍
執行役員	嶋本 村 倉
執行役員	中小 勝 由

## 会社の概要 (2019年3月31日現在)

社名	東洋建設株式会社
英名	TOYO CONSTRUCTION CO., LTD.
創立	1929年7月3日
資本金	14,049,367,174円
営業種目	土木建築工事の請負、建設コンサルタント、土地造成、地域・都市・海洋・資源エネルギー開発及び環境整備、公共施設の企画、管理運営、エネルギー供給に関する事業、不動産業、その他関連事業
従業員数	1,564名 (連結)
URL	<a href="http://www.toyo-const.co.jp/">http://www.toyo-const.co.jp/</a>



### 本社が移転しました

本年2月25日に本社が江東区青海から千代田区神田神保町の神保町三井ビルディングに移転しました。役員、社員一同、心新たに業務に取り組んでおります。



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先※	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。公告掲載URL <a href="http://www.toyo-const.co.jp/">http://www.toyo-const.co.jp/</a>

## 主要営業所 (2019年6月27日現在)

本社	東京都千代田区神田神保町一丁目105番地 神保町三井ビルディング 〒101-0051 ☎ (03) 6361-5450
本店	大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号 興銀ビル 〒541-0043 ☎ (06) 6209-8711
北海道支店	(札幌市中央区)
名古屋支店	(名古屋市中区)
東北支店	(仙台市青葉区)
大阪本店	(大阪市中央区)
関東支店	(東京都千代田区)
中国支店	(広島市東区)
関東建築支店	(東京都千代田区)
四国支店	(香川県高松市)
横浜支店	(横浜市中区)
九州支店	(福岡市中央区)
北陸支店	(石川県金沢市)
国際支店	(東京都千代田区)
海外営業所	マニラ、ハノイ、ジャカルタ、ヤンゴン
技術研究所	鳴尾研究所 (兵庫県西宮市) 美浦研究所 (茨城県稲敷郡美浦村)

表紙写真：昨年12月に引き渡しを終えたマンマー連邦共和国のティラワ港コンテナターミナル。発注者から高い評価をいただきました。また、右側のヤードも現在施工中です。

夢から感動へーハートテクノロジー



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

